

九州北部豪雨災害支援 お礼とご報告

今年7月の九州北部豪雨災害に際して、本郷教会に設けられ活動してきた「被災地ボランティア本郷宿泊所」は10月末をもって3ヶ月にわたる活動を終え、11月6日(月)に閉所式が行われました。開設中は、教区内外より多くのボランティアが訪れ、45人の方に計211泊ご利用いただきました。

また、支援金の募金も10月末をもって受付を終了しました。教区内外より支援金が寄せられ、募金の総額は、合計415件、総額21,874,513円(2017年10月31日現在)に上りました。

皆さまのご支援、ご協力に心よりお礼申し上げます。

頂いた支援金から、宿泊所と支援室の運営費をまかなった上で、残金は、朝倉市、東峰村、日田市の被災者の要望を伺い、寒さ到来を前に、暖房器具や寝具をお届けしました。3箇所計1,100点(総額18,266,804円)を支援させていただきました。東峰村より支援へのお礼状が届きました。各小教区・修道院にお送りしておりますのでご覧ください。

被災地での復興作業はまだ続きます。祈りのうちに被災された方々に心を寄せ、歩んで参りましょう。

【福岡教区災害被災者支援室】

静かな雰囲気の中、厳かな「ミサの祈り」から始まった「教区の日」2017。実行委員長と相棒の(腹話術の)シゲちゃんが登場し歓迎の挨拶をした。その後、大人(中学生以上)は聖堂で講演を聴き、各部署の活動の発表が行



宮原司教の説教に聞き入る参加者ら

【教会共同歩み】各部署からは、まず熊本地区から「震災のその後」について、続いて福岡地区青年会から活動の紹介。次に教区内女性の会より「現状とこれから」が話され、筑後地区、佐賀地区、北九州地区、そして福岡地区の代表が「取り組んできたこと」を報告した。それぞれ地域性、現状、課題のなかで、教区年間テーマのもとに共同体として歩んでいることが感じられる活動報告であった。総合司会の青木悟神父(教区本部事務局)は「出来事、活動に思いをはせ、心を一つにすることができた時間となった」と結んだ。

【教区の宝である子ども達】1階講堂では、鳥栖教会が作成した「ある神父の召命物語」が人形劇で披露され、子ども達の心を揺さぶった。司祭・修道者の召命を願うばかりである。その後は佐賀教会の教会学校のスタッフが主体

【信頼とつくしみと調和】大人の部の講演では、古巣神父(長崎教区司祭)が「福岡教区へ、高山右近の使信―信頼とつくしみと調和と―と題して話した。『本来いるはずの兄弟姉妹が神の家の集いに見受けられない』と、教会共同体の現状を指摘。高山右近の生き方に倣い、共同体に信頼とつくしみと調和」を育もうと呼びかけた。また、信仰は自力で獲得できるものではなく、「関わりと交わり」のうちに伝えられ、育まれるものだと言及した。

【神のいつくしみの恵みに生きる】昼食休憩の間、8カ所で行った「つくしみを信じ、信仰者として新たに踏み出す恵みの時」であった。その後、感謝のミサが宮原良治司教と33人の司祭の共同司式で行われた。ミサの中で各地区・各小教区の報告書が奉納された。

宮原司教は説教で、いつくしみの特別聖年閉幕の際の教皇の言葉を引用しながら「いつくしみ(それはキリストの姿)を感じるならば、愛の業は自然とあふれる」と述べた。また、「いつくしみは生活のなかで、社会の中で具体化されなければならない」と、外に向かつて歩んでいくことの大切さを説いた。そのために、教会行事のあり方を問い直すことも必要だと語った。

共同祈願や聖体拝領の歌には英語での参加もあった。聖体拝領後には子ども達の手話と共に皆で「愛されている子どもらしく」を歌った。

宮原司教はミサの最後に、

いつくしみから踏み出す第一歩 関わりと交わりを深める「教区の日」

「教区の日」2017(実行委員長下町豊重神父)が11月23日(木・祝)、カテドラル大名町カトリック教会で行われ、約700人が集った。

区から「震災のその後」について、続いて福岡地区青年会から活動の紹介。次に教区内女性の会より「現状とこれから」が話され、筑後地区、佐賀地区、北九州地区、そして福岡地区の代表が「取り組んできたこと」を報告した。それぞれ地域性、現状、課題のなかで、教区年間テーマのもとに共同体として歩んでいることが感じられる活動報告であった。総合司会の青木悟神父(教区本部事務局)は「出来事、活動に思いをはせ、心を一つにすることができた時間となった」と結んだ。



レクリエーションを楽しむ子ども達



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 下町豊重
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

12月の意向

【世界共通】高齢者たち
【日本の教会】難病治療の支援

教皇様の意向のために祈りましょう

時の話題

フィリピンのクリスマス
(日本語訳は3面に掲載)

Being one of Asia's predominantly Christian countries, Christmas in the Philippines is the most celebrated special occasion of the year. The celebration is not only on the very day of the 25th of December but way much earlier. Once the 'BER' months begin, Christmas carols are already heard everywhere, decorations are put up and streets become busier. Another very unique to the Philippine Christmas celebration is the observance of "Misa de Gallo". This is a nine-day novena Mass offered from December 16th to 24th at the wee hours of the day by the Catholic churches all over the country.

Christmas celebration for Filipinos has many shades of meaning. It is the time of giving and sharing one's blessings to others. This is usually manifested in practices such as the exchange of gifts, giving donations to charitable institutions, sharing of monetary gifts to carolers, and many more. It is also the time for friends and acquaintances to meet and together partake of food preparations in a party or reunion.

Most importantly, celebrating Christmas for Filipinos is essentially focused on family. The family is the center of Christmas for Filipinos. Filipinos, wherever they are, wish to be united with their families come Christmas time. It is the time of the year that family reunions are mostly held. Far or near, Filipinos always make it a point that their presence are being felt in one way or another by their loved ones. It is taken as an opportune time to make each member of the family feel blessed that they have each other all throughout the year, and together, look forward to the unfolding of another year full of hope, determination and great faith in God whose unwavering love and Divine Providence will see them through until another Christmas comes.
by Rowena N. Barniego (Saga Parish)

2017年度 第3回司祭評議会 新しい年、新年度に向けて

11月7日、本年度第3回司祭評議会が開催され、以下の点について話し合われた。

①災害支援組織と支援金対策について。カリタスジャパン制作の災害マニュアルに基づき、今後の教区としての災害支援のあり方について話し合いが進められた。

②教区目標の振り返りと来年度目標設定について。各小教区で目標を設定、実行することに課題があるとの現状が分ち合われた。「教区の日」に提出される各地区・小教区の活動報告を参考に来年度目標を検討する。

③教区創立100周年に向

参加者と協力者に謝辞を述べ、「教区の日」の恵みをバネに、これからは頑張りましょう」と教区民を励ました。

参加者からは「講演で現状をしっかりとみつめ、今後の方向性について意識付けすることができました」「教区民が集ったミサは圧巻で、歌声が天に昇っていくように感じました」などの声が聞かれた。

10月22日(日)、カテドラル大名町教会で「聖体授与の臨時の奉仕者」のミサ・任命式が宮原良治司教の司式で行われた。今回は新規の任命はなく、更新者128人の信徒と修道者(福岡地区46人、筑後地区15人、北九州地区21人、佐賀地区15人、熊本地区31人)が任命、派遣された。

任命式に先立ち、森山信三神父による講話が行われた。「エマオへの弟子」(ルカ24:13-35)の物語を読み解き、聖体奉仕をする者たちが、それぞれの人生、日常の日々において「ミサを生きる」者となるように呼びかけた。

「キリストにあつて一つの体である共同体に奉仕する」という自分の務めを自覚し、キリストから流れてくる愛をつたえるのです。」(任命式の司教訓話より)

「聖体授与の臨時の奉仕者」ミサ・任命式

10月22日(日)、カテドラル大名町教会で「聖体授与の臨時の奉仕者」のミサ・任命式が宮原良治司教の司式で行われた。今回は新規の任命はなく、更新者128人の信徒と修道者(福岡地区46人、筑後地区15人、北九州地区21人、佐賀地区15人、熊本地区31人)が任命、派遣された。

任命式に先立ち、森山信三神父による講話が行われた。「エマオへの弟子」(ルカ24:13-35)の物語を読み解き、聖体奉仕をする者たちが、それぞれの人生、日常の日々において「ミサを生きる」者となるように呼びかけた。

「キリストにあつて一つの体である共同体に奉仕する」という自分の務めを自覚し、キリストから流れてくる愛をつたえるのです。」(任命式の司教訓話より)



「私はあなた方に平和を残し、私はあなた方に平和を与える」(ヨハネ14章参照)。イエスの言われる平和とは戦争状態ではない時の平和というより、悪に対する勝利からの平和を言うのである。イエスから発せられる平和は人の隅々にまで届き、心を安らぎで潤わせるのである。「イエスが共にいてくださる」ことが安心であり、平和をもたらすのである。▼かつて、天使ガブリエルから「あなたは女の中で祝福された方です。お腹にできるお子様も祝福されたお方です」(ルカ1章参照)とお告げを受けたマリヤは不安に陥った。「この挨拶は何のことだろう」と思いま

「私はあなた方に平和を残し、私はあなた方に平和を与える」(ヨハネ14章参照)。イエスの言われる平和とは戦争状態ではない時の平和というより、悪に対する勝利からの平和を言うのである。イエスから発せられる平和は人の隅々にまで届き、心を安らぎで潤わせるのである。「イエスが共にいてくださる」ことが安心であり、平和をもたらすのである。▼かつて、天使ガブリエルから「あなたは女の中で祝福された方です。お腹にできるお子様も祝福されたお方です」(ルカ1章参照)とお告げを受けたマリヤは不安に陥った。「この挨拶は何のことだろう」と思いまどつたのはそのためである。しかし、その後の天使の言葉「これは神のみ業です。神にはできないことは何一つありません」と神の全能性を説かれた時、マリヤは「み旨のまに」と自分を委ねたのである(同1章)。その時にマリヤの心には平和が訪れて、自由になったのである。つまり、自分自身を神に委ねた時に、「インマヌエル、神と共にいてくださる」という気持ちにしてみれば、「どんな状態でも神が側で見守ってくださる」という喜びに変わったというのである。▼2000年ほど前に、祝福されたこの世にお出でになった神の御子は成長し、人を祝福し、ご自分のすべてを十字架の上にて捧げ、最悪の死に打ち勝ち、人々に平和を与えてくださった方となられた。もう何も恐くない、もう何も求めない。必要なのは「主の平和」のみである。クリスマスのプレゼントは救い主からの「私の平和をあなたの上に」の言葉でよい。(S)

神学院祭に1200人以上が集う 神学生の個性あふれる企画



福岡キャンパスでの野外ミサ

11月3日(金・祝)、日本カトリック神学院福岡キャンパスにおいて「神学院祭」が開催された。今回は、東京キャンパスからも神学生が合流して計33人の神学生と、神学院養成者、シスター、スタッフで参加者を迎える準備をした。当日は、全国各地から1200人以上が神学院に集った。

今回の神学院祭のテーマは「神の声を聞こう」。ミサの主式、説教、そして講演会を京都教区の大塚喜直司教にお願いした。大塚司教はいずれもはつきりとした口調で自己の召命と主イエスからの使命について語り、反響を呼んだ。一方で神学生らは各企画を多く準備し、恒例の子ども企画や神学院ツアー、展示企画(自己紹介、ランキング、神学院紹介ビデオ等)、古本市などに加えて、ロザリオ作り、なりきり神学生、神学生ビンゴ、そして新しい試みとしてお化け屋敷をオープンした。参加者からは「神学生劇も含めて、さまざまな企画で神学生の個性があふれていた神学院祭だった」との感想が聞かれた。

「今回の神学院祭に出店してくださった小教区の皆さま、運営に必要な手伝いをしてくださった皆さまのご協力

カテキズムを学ぶ⑬ 御昇天について考える

教会の暦では復活の主日の四十日後に主の昇天の主日が来て、その後は聖霊降臨、三位一体、キリストの聖体の主日と続きます。ところで、復活は言うまでもないとして、聖霊、三位一体、聖体の神秘が私たちの信仰生活のなかでそれぞれ大きな位置を占めているのにたいして、キリストの昇天については、それが私たちの救いに何の関係があるのか、「ひとむらの雲がイエスを包んで見えなくなった」後の空を見つめていた使徒たちのように疑問を抱く人が多いかもしれません。

主の昇天について正しく考えるためには、まず「昇天」をイエス・キリストの目に見える身体が空へ昇ってゆく運動であると思ひ込む誤解を脱却しなければなりません。使徒たちがオリブ山上で目撃したのは昇天そのものではなく、いわばその前段階です。「天」とは物理的な宇宙空間ではなく「栄光に入った」至福な者たちが、神を「顔と顔を合せて」見るといわれる「場」です。復活したキリストは「栄光のうちに入」っておられたのですが、弟子たちと語り合い、食事を共にされ

ていた間は自らの神性の輝きを人間性の下にいわば秘めておられたのです。そしてキリストの昇天と私たちの救いの親密な結びつきが明らかになるのは、キリストの肉身が神性との合一のゆえにすべての霊的造物をも越える尊厳を有するものであり、そのような最高の尊厳にふさわしい高挙が昇天であつたことを私たちが理解するときです。そして復活したキリストがマグダラのマリアに「わたしの父であり、あなたがたの父でもある方、また、わたしの神であり、あなたがたの神でもある方」ところへわたしは上る」と(ヨハネ20・17)告げられた言葉はまさしくそのことを示して

います。というのも、この言葉はキリストの昇天が自らの神性にふさわしい高挙であつただけでなく、私たちの昇天のための道を整えるものであつたこと、もつとはっきり言えば、私たちの救いの原因であつたことを明らかにしているからです。

イエスは自らの受難、死を前にして「わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう」(ヨハネによる福音書12・32)と群衆に告げられたのですが、復活したキリストがマグダラのマリアに語られた言葉は、キリスト自身の昇天とキリストに従う者たちの昇天との結びつきをよりはっきり示しています。それに昇



ミサの参列者

天の後にはキリストはもはや、身体的には現存されませんが、その神性は輝きを増して常に、すべての信者たちに現存するようになられました。そのため救いを目指して地上を旅する信者たちの歩みを導き、力づけてくれる信仰、希望、愛は、大いに強められ、高められるようになったとも言えるでしょう。昇天は観察できる出来事ではないのです。むしろそれは復活と同じように「神がわれわれの救いのために人間になり給うた」という受肉の神秘・信仰の真理に基づいてのみ理解できる、キリストの救いの業なのです。

古賀教会信徒 稲垣良典



セバスチアノ 川添 猛 神父 (長崎教区)

計 報

福岡教区和田墓地にて死者の月のミサ

福岡教区和田墓地にて11月12日(日)14時より、死者の月のミサと納骨式が行われた。風が少し冷たく感じる中、主司式は平田敬神父が、司祭4人の共同司式でミサがさげられた。200人弱が集った。納骨式では6人の方が納骨された。

お参り訪問者数は多く、12時前より途絶えることなく信者の姿が見受けられた。和田墓地の納骨堂で眠る人々、いつかは死を迎える私たちが、イエスのもとに共に行けることを思い、ミサにあずかった。

【月例黙想会】

期 日: 12月9日(土)17時~10日(日)9時
指導者: 染野治雄 神父(御受難修道会)
費 用: 8,700円(税込・指導料含む)

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください
◆ただし、ホームページ休止中です。お電話でお問合せください。

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com



田川カトリック幼稚園



成長に感謝する七五三祝福式

11月14日、田川カトリック幼稚園にて、七五三の祝福式が行われた。祝福式は例年、田川教会聖堂にて行われているが、この日は雨天のため幼稚園ホールにて全学年合同での式となった。

園長の大塚了平神父は、福音朗読の後、「七五三は子ども達がいつも元気でお過ごしできて、成長して大きくなったことを、神様に感謝する日です。

たくさんのお恵みをくださっている神様と、いつもお世話してくださっているお父様お母様に、素直な心でありがとうと言えるようになりました」と話した。子ども達の祝福の祈りの後、記念のメダイと千歳飴の祝別がされた。そして子ども達からは、感謝の祈りと聖歌が捧げられた。最後に、子ども達は一人ずつメダイと千歳飴をいただいて、笑顔で退場した。教職員一同にとっても、お預かりしている子ども達の成長に感謝し、日々の保育への思いを新たにしたい七五三祝福式となった。

ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

クリスマスを巡る話② 一生を養うイエスの生き方

レナト・フィリッピニ神父(聖ザベリオ宣教会)

私たちは、12月24日もしくは25日にしかクリスマスケーキを食べませんし、賞味期限も短いものです。一方で、2000年を経てもなお、イエスの生き方とその価値観は、多くの人々の人生を養い続けています。

クリスマスは、贈り物です。私たちは、家族や友人同士でプレゼントを交換します。また、クリスマスの募金やチャリティコンサートなど、大規模で社会的に行われるものもあります。この精神はどこか

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である」と、イエスは説いています(マタイ7章12節)。この表現は、キリスト教の価値観を表しており、積極的な生き方なのです。これに基づいて、2000年もの間、全世界にいるキリスト者たちは、イエスの生き様を表現しようとしてきました。イエスの精神を実践して、社会、世界、そしてすべての人間に大きな貢献をしてきました。現在、カトリック・プロテスタント・東方教会を含めた20億人以上の

教区報8月号(711号)で呼びかけた「信仰物語を書く」を書き終えたでしょうか?「書く」と考えている方が多いのではないのでしょうか。締め切りはありません。いつでも大歓迎です。信仰物語を書くための設問が必要な方はお知らせ下さい。
メール organtino70@gmail.com

11月5日(日)、佐賀地区宣教会司牧評議会主催の不動山殉教者祈念祭が、佐賀県嬉野市の不動ふれあい体育館にて開催された。この日は穏やかな秋晴れに恵まれ、宮原良治司教主式のミサ・祈念祭に佐賀県内の小教区司祭・修道士・信徒、隣接する長崎教区川棚教会の司祭・信徒、そして福岡コレジオの院長と神学生ら約150人が集った。



不動ふれあい体育館でのミサに集った信者ら

佐賀地区 不動山殉教者祈念祭 信仰の先人と心をひとつにして

「新福音化の集い」―日常の中で福音を生きる―が10月20日(金)〜22日(日)、東京の日本カトリック会館で開催された。日本カトリック司教協議会の新福音化委員会が主催。(カトリック新聞11月12日号一面に報告記事が掲載されている。)

「この集いが開かれた理由は、『福音宣教推進全国会議』(NICE/第1回は1987年・京都)以降の動きを十分分かち合い、福音と社会をどう結び付けるかについて、全国に励ましのメッセージを送るという『宿題』が同委員会に課せられていたためです。そのために、まず現実の声を聞くことが目的でしたV(カトリック中央協議会HPより抜粋)

全国から29人の信徒が集った。この集いに福岡教区から参加した2人の信徒に、集いに参加した所感を寄せていた

の地で殉教した信仰の先輩たちは、私たちに何を呼び掛けておられるでしょうか。彼らは命をかけて信仰を守り、神のいつくしみを証しました。キリスト教が厳しく禁止されていた当時、それを可能にしたのは、彼らが心をひとつにして祈ったことでした。私たちも彼らにならい、声を合わせて心をひとつにして祈りま

しよう。そして、彼らと同じように、この素晴らしい信仰を子どもたちや他の人へ伝えていきたいと思います。ミサの共同祈願では佐賀地区各小教区代表者により殉教者などのために祈った。聖体拝領後にはフィリピン人信徒たちにより英語の歌が捧げられ、印象的なものとなった。ミサ後には地元の方たちにより特産品のお茶などがふるまわれ、茶葉などの販売も行われ、交流することができた。

全国「新福音化の集い」に参加して 福音と社会の結びつきとは

だいた。そして、彼らと同じように、この素晴らしい信仰を子どもたちや他の人へ伝えていきたいと思います。ミサの共同祈願では佐賀地区各小教区代表者により殉教者などのために祈った。聖体拝領後にはフィリピン人信徒たちにより英語の歌が捧げられ、印象的なものとなった。ミサ後には地元の方たちにより特産品のお茶などがふるまわれ、茶葉などの販売も行われ、交流することができた。

◆ ◆ ◆ 吉塚教会 山下ゆかり 私はこの集いに、参加の声をかけを頂き、非常に戸惑いを覚えました。それは日常生活の中で、どれだけ福音を考え生活をしているかという、殆ど考えていないというのが正直なところでした。しかし、「社会から教会を見た視点で意見を出してもらえばいいです」とのことでしたので、多少の不安はありましたが参加することにしました。

◆ ◆ ◆ 久留米教会 井手健一郎 「新福音化」、何か新しい事を始めるのか、と思いつながら参加しました。私達のグループでは、福音を社会にどう結びつけるか(「福音化」という課題に対して、現状を分析し、社会、教会、司祭、信徒等にある問題の検討から始めましたが、2泊3日の密度の高い集いを過ごすうちに、少しずつ考え方が変化していきました。最後の派遣のミサでは、各自の祈りを共同祈願で捧げる

この事で、私は「神様の愛を十分に受け止めきれない私、私達をゆるし、導いてください」と書き残しました。問題は、あれが悪い、これが悪いではなく、私達自身の中にあるのではないかと思いました。もうすくも、数が増えれば明るくなりますが、一本でも光を大きくすれば、多くの場所を照らせます。ミサで強められた私達は、派遣されます。でも、ご自身を与えてくださる程の神の愛に報いているでしょうか。『新福音化』とは新しいことではなく、原点に返り、一人ひとりが今よりも大きな光を放つことではないかと感じました。

「フィリピンのクリスマス」 1面「時の話題」の日本語訳です。

アジアにおいてクリスチャンが大多数を占めるフィリピンでは、クリスマスは一年のうちに最も盛大に祝われる祝日です。お祝いは12月25日当日だけでなく、もっと早い時期から始まります。英語で<BER>のつく月(訳注:9月から12月)に入ると、すでにクリスマスキャロルがあちらこちらで流れ、デコレーションもつけられ、通りは普段以上に賑やかになります。フィリピンのクリスマスのもう一つの特筆すべき習慣は「ミサ・デ・ガロ」というクリスマス前の9日間の「ノベナ」のミサです。12月16日から24日の毎朝、早朝(訳注:夜明け前)に全国のカトリック教会でこのノベナのミサがささげられます。

フィリピン人にとってクリスマスは様々な意味をもちます。まずはそれぞれに頂いているめぐみを他の人たちに分かち合う時です。贈り物の交換や、慈善団体への寄付、キャロリングをする人々への献金などを通して、分かち合いの精神があらわれます。またクリスマスは友人や知人達と集まり、パーティーや仲間の再会を喜ぶ食事の準備を共にする時です。

フィリピン人にとってクリスマスで最も大切なのは家族です。家族がクリスマスの中心となります。フィリピン人はどこにいてもクリスマスには家族と共にあることを望みます。一年の中で一番家族が集う時です。遠くても近くても、何らかの方法で愛する家族に自分がともにいることを感じてもらえることを大切にします。一年を通して互いの存在があることがめぐみであることを家族のそれぞれのメンバーが感じることでできる機会です。そして、共に新しい年の幕開けを待ち望みます。新しい年が希望と決意、そして、揺るがない愛と御摂理によって私たちを次のクリスマスまで見守ってくださる神への信頼に満ちたものであるように。

佐賀教会 ロエナ N. パルニエゴ

聖書を読んだり、ぬり絵をしたり、質問に答えたりしながら、楽しく聖書を学べる絵本です。保育園・幼稚園・小学校や教会学校、ご家庭でぜひご使用ください。
サンパウロ発行
税込価格756円



☆楽しく学ぶ聖書絵本
文 ベサン・ジェームズ
絵 クリスティーナ・カ
ライ・ナギー
訳 サンパウロ
女子パウロ会発行
税込839円

いまや世界の祭りとなったクリスマスですが、飼葉おけに眠る幼児、星に導かれて拝みにくる異国の学者たち、天使のコーラスに驚く羊飼いは、このようなキリスト降誕物語で、聖書は何を言いたいのでしょうか? 聖書研究小論。
女子パウロ会発行
税込839円

☆降誕物語におけるキリスト
〜マタイ2章・ルカ2章に関する小論集〜
レイモンド・E・ブラウン 著
生熊秀夫 訳



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.iruka-japan.com/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:<http://www.pauline.or.jp>

年間目標

いつくしみから
踏み出す第一歩

第70回 福岡市民クリスマス

日 時：12月4日(月) 18時開場 18時半開演
場 所：福岡市民会館大ホール
メッセージ：下稲葉 康之氏(栄光病院 名誉ホスピス長)
コンサート：ソン・ソルナム(フルート奏者)
主 催：福岡市民クリスマス実行委員会
☎092・292・1769
※入場無料・手話通訳あり

ホームレス支援・越冬炊き出し「スープの会」

美野島司牧センター改築工事のため、2017年12月～2018年3月まで毎週金曜日、ホームレス支援の越冬炊き出しを行います。(拠点：大名町教会)
調理ボランティア、配布ボランティア、献金による参加をお待ちしております。詳細は各小教区に配布されているポスター、ホームページ(NPO福岡おにぎりの会)、フェイスブックでご確認ください。
問合せ：スープの会 ☎080・4317・4152 飛永

お詫びとお誘い

キリスト教講座I期(大濠会館) 2017年10月～2018年1月は参加者が集らず中止となりました。なお、同講座は大名町教会で水曜日(19時～21時)と金曜日(10時～12時)に開講しています。どうぞご参加ください。
“本当の自分に出会って、もっと開花してみませんか!”
問合せ：☎092・861・4802 海江田

福岡教区広報室アドレス

<http://fukuoka.catholic.jp>

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

12月のこよみ

福岡教区和田墓地に関するお知らせ

☆福岡教区和田墓地専用電話を開設しました。

☎080・2771・6544

担当者が電話に出られない場合、こちらから折り返しご連絡いたします。留守番電話にメッセージを残すように設定されていますので、用件を必ず残してください。

☆第1駐車場に白いラインの駐車枠を設けました。
スムーズに車の出し入れができるよう、皆様のご協力をお願いします。

真命山諸宗教対話・霊性交渉センター

※祈りの集い

年間テーマ：山上の教え

日 時：12月14日(木) 10時～15時

内 容：見ないのに信ずる者は、幸いである。

(ヨハネ20・29)

指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)

問合わせ先：真命山諸宗教対話・霊性交渉センター

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：12月2日、16日、1月6日、20日
10時～11時45分

場 所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
3日(日) 待降節第1主日 宣教地召命促進の日(献金)
4日(月) 福岡市民クリスマス
5日(火) 責任役員会
鳥栖カトリック幼稚園上棟式
6日(水) 教会行政法制委員会
7日(木) 常任司教委員会
8日(金) 無原罪の聖マリア
9日(土) 福岡地区カトリック女性の会・研修ミサ
10日(日) 待降節第2主日 貧しい協働体ミサ
12日(火) ↑M.コーフィールド(2001年 島崎教会)
14日(木) 特別臨時司教総会
↑J.モラハン(2002年 水俣教会)
15日(金) 司教勉強会 ↑D.カレン(2003年 崎津教会)
16日(土) 菊地功大司教着座式
17日(日) 待降節第3主日
18日(月) ↑J.ドゥーリ(2001年 島崎教会)
24日(日) 待降節第4主日
降誕祭夜半のミサ(21時 カテドラル大名町教会)
25日(月) 主の降誕 聖マリア病院クリスマスミサ(16時半)
27日(水) 司教顧問会
29日(金) ↑M.マホニー(2014年 笹丘教会)
31日(日) 聖家族

【1月】

1日(月) 神の母聖マリア・元旦ミサ(10時 大名町教会)
世界平和の日 ↑C.バステ(2002年 黒崎教会)
↑A.ラプラント(2015年 大神学院)
5日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
7日(日) 主の公現
8日(月) 主の洗礼

■ゴチックは司教日程

「喜びを伝えるキリストのメッセージを、人々が見出す助けができますように。それは愛といつくしみのメッセージです。」
教皇フランシスコ

ご降誕祭・元旦などのミサ時間

教 会	24日 降誕夜半	25日 降誕祭	31日 大晦日	1日 元旦	教 会	24日 降誕夜半	25日 降誕祭	31日 大晦日	1日 元旦
福岡地区					直 方	18:30	9:00	—	11:15
糸 島	19:30	9:00	—	10:00	水 巻	19:30	10:00	23:00 (折り)	0:00 10:00
大 楠	19:00	10:00	—	10:00	門 司	19:30	9:30	—	10:00
古 賀	19:00	0:00 9:30	23:30 (折り)	0:00 10:00	湯 川	19:00	9:00	24:00	10:00
笹 丘	18:00 20:30	10:00	—	11:00	行 橋	19:00	10:00	—	0:00
浄 水 通	17:30	11:00	—	10:30	豊 津	19:00	—	—	10:00
大 名 町	18:30 21:00 23:30	10:00	—	10:00	若 松	18:00	8:30	—	8:30
能 古 島	—	15:00	—	15:00	佐賀地区				
高 宮	19:00	10:00	—	11:00	伊 万 里	19:00	9:30	—	11:00
茶 山	17:30	9:00	—	9:00	鹿 島	18:00	11:00	—	11:00
西 新	19:00	10:00	—	10:00	唐 津	19:00	10:30	—	10:30
箱 崎	19:00	10:00 19:00	—	10:00 19:00	佐 賀	19:00(Jap & Eng)	10:00	—	10:00(Jap & Eng)
光 丘	19:00	10:00	—	10:00	多 久	武雄にて	武雄にて	—	9:00
吉 塚	19:30	10:30	—	10:30	武 雄	18:00	9:00	—	11:00
南 粕 屋	19:00	8:30	—	8:30	鳥 栖	19:00	11:00	—	11:00
老 司	19:00	10:00	—	10:00	馬 渡 島	19:00	8:00	—	8:00
筑後地区					呼 子	19:00	8:00	—	8:00
今 村	19:00	10:00	—	10:00	松 島	—	15:00	—	15:00
大 牟 田	19:00	10:00	—	10:00	熊本地区				
小 郡	19:30	8:30	—	9:00	荒 尾	19:00	9:00	—	9:00
久 留 米	19:00 22:00	9:00	24:00	10:00	大 江	19:00	10:00	—	7:30
二 日 市	19:00	6:30 9:00	18:00	10:00	帯 山	18:00	10:00	—	9:00
本 郷	19:00	9:00	—	10:00	菊 池	19:00	8:30	—	10:00
北九州地区					山 鹿	19:00	10:30	—	10:30
飯 塚	19:00	10:00	—	10:00	健 軍	19:30	9:30	—	10:00
黒 崎	18:30	9:30	—	0:00 10:00	崎 津	21:00	10:00	—	10:00
小 倉	19:00	10:00	—	10:00	島 崎	19:30	10:00	—	10:00
新 田 原	20:00	9:00	—	0:00 10:00	玉 名	19:00	9:00	—	9:00
田 川	18:00	11:15	—	9:00	手 取	19:00 24:00	10:00	—	10:00
天 神 町	20:30	11:00	—	11:30	人 吉	19:00	10:00	—	11:00
戸 畑	20:00	10:00	—	10:00	本 渡	19:00	7:30	—	10:00
					水 俣	19:00	9:00	—	9:00
					武蔵ヶ丘	19:30	10:30	—	0:00 10:30
					恵 楓 園	—	12:00	—	9:00
					八 代	19:00	10:00	24:00	11:00

12月24日と31日の主日のミサ時間は掲載しておりません。

◆福岡 ◆宣教委員会(エキムニズム部)の集り(日時)12月10日(日)15時から(場所)大名町教会(問合せ先)☎092・741・3687
杉原神父 ※信徒・修道者・司祭の自由な参加を

◆聖ドミニコ信徒会集會(日時)12月2日(土)14時～16時(場所)箱崎教会(指導)アントニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先)☎092・651・3867箱崎教会
◆師イエス祈り会(日時)12月8日(金)10時～12時(場所)高宮教会・小聖堂(問合せ先)☎090・7468・3631西田
◆祈りの集い・勉強会・クリスマス会(日時)12月9日(土)14時から(場所)聖パウロ修道会福岡修道院(指導)永富久雄神父(聖パウロ修道会)(問合せ先)☎092・541・3730松山
◆レジオナリエ福岡クリア(日時)12月10日(日)14時から(場所)高宮教会(問合せ)☎090・9654・9969日吉

◆震災のための祈りのリレー(日時)12月11日(月)ミサ7時から・夕の祈り(テゼの祈り)17時から(場所)高宮教会(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆福岡チエナクルム(日時)12月15日(金)10時～12時(場所)高宮教会(問合せ先)☎090・7468・3631西田
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)12月19日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)待降節のグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先)☎096・380・5686堺
◆聖書に集う会(日時)12月20日(水)14時～15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆ラスキン黙想と祈りの集い(日時)12月22日(金)19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)

◆北九州 ◆新田原教会クリスマスチャリティーコンサート(日時)12月17日(日)14時から(13時40分開場)(場所)新田原教会
◆今村教会クリスマスコンサート(日時)12月10日(日)13時半～14時45分頃(13時開場(場所)今村教会(演奏者)安積道也(オルガニスト)※500円以上の献金を(問合せ先)☎0942・77・2325今村教会小教区委員会
◆熊 ◆聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜日10時半～12時(場所)手取教会信徒会館(内容)賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先)☎096・384・1693中川
◆熊 ◆聖書と典礼の分かち合い(問合せ先)☎096・384・1693中川

編集後記

一年のご愛顧を感謝します。

メモリードール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリードール(後期)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942-35-3322(代表)

FAX0942-34-3115

<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか?

＝募集＝

医師・看護師・医療技術職

福岡地区カトリック女性の会 講演会

テーマ：『いのちへのまなざし』改訂作業を
とおして見えてきたもの

講演者：幸田和生司教(東京大司教区補佐司教)

日 時：12月9日(土)13時～15時

派遣ミサ 15時～16時

場 所：大名町教会1階講堂

問合せ：☎090・1084・2955 川原

キリスト教書籍・用品

お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930